

外食状況

昼も夜も外食は月に2～3回。夜は家族で行くことが多く、月に1～3回が過半数を占める。女性は友人との同伴率も高く、男性より食事の交友関係は広い。

回転寿司や焼肉店が「最もよく行く店」の1位と2位で人気の高さが伺える。回転寿司とファミリーレストランは子どもと一緒にいくことが多いと70%以上が回答し、選択理由で「リーズナブルな価格」が65%以上であり、この2つの店で使う1回1人当たりの平均単価は1700円弱。価格重視は子ども連れで行く店の必要条件のようだ。

新しく飲食店を探すために、もっとも活用されているのは「グルメ情報誌」で、僅差で「地域情報誌」が続く。雑誌からの情報収集がやはり多いが、「人からの紹介」も40%を超えている。「インターネット」は22.3%で4人に1人程度しか活用していない。

過去1年以内の外食最高額は、平均で6,887円と6,000円前後が主流のようだ、男性よりも女性のほうが外食頻度が低いいためか、最高外食額は男性平均よりも高い17,442円である。

調査目的 岡山の40歳以上の人たちの意識や行動を知る

調査方法 インターネット調査

調査期間 2007年6月22日～6月28日

調査対象者 岡山県在住の40歳以上の男女

回答者 175人

調査機関 岡山情報文化研究所

回答者のプロフィール

【性別】

	件数	%
男性	77	44.0
女性	98	56.0
全体	175	100.0

【年齢×性別】

上:件数 下:%	合計	40代	50代	60代～
全体	175	141	29	5
	100.0	80.6	16.6	2.9
男性	77	60	14	3
	100.0	77.9	18.2	3.9
女性	98	81	15	2
	100.0	82.7	15.3	2.0

【職業×性別】

上:件数 下:%	合計	ひとり	夫婦のみ	子と同居 (核家族)	親と自分 と子	親と同居 (核家族)	その他
全体	175	9	21	83	33	18	11
	100.0	5.1	12.0	47.4	18.9	10.3	6.3
男性	77	7	9	34	15	7	5
	100.0	9.1	11.7	44.2	19.5	9.1	6.5
女性	98	2	12	49	18	11	6
	100.0	2.0	12.2	50.0	18.4	11.2	6.1

外食頻度

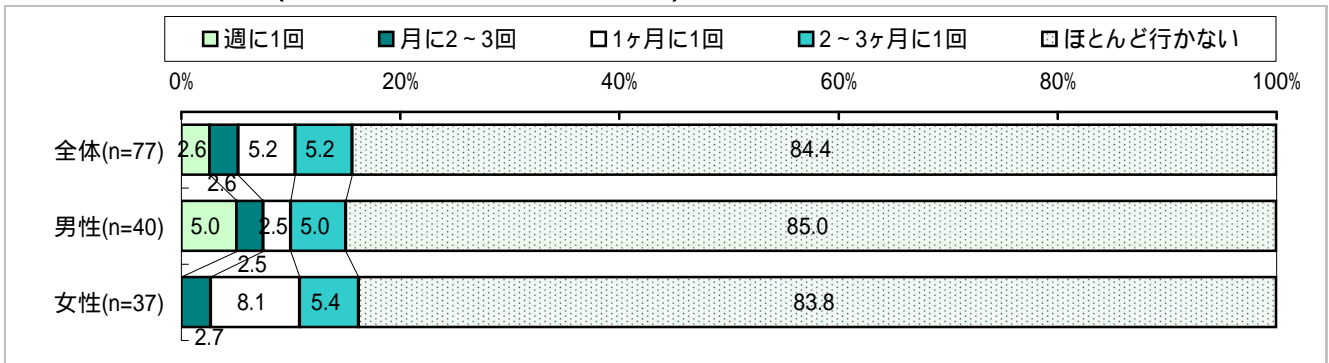
昼食も夕食も月に2～3回外食する人が約3割。

朝と昼の外食はPCユーザーのみに聞いたが、朝の外食をする人は非常に少なく、84.4%が「ほとんど行かない」と回答した。

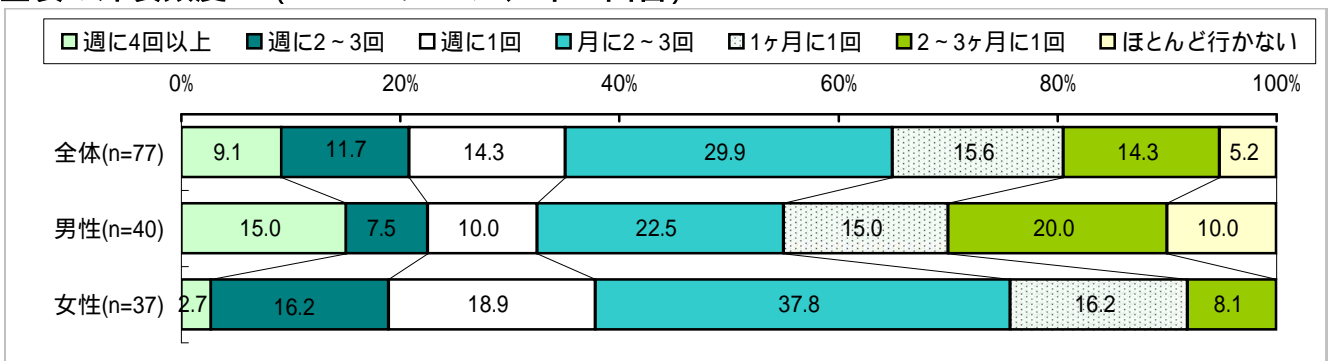
昼食は、全体では「月に2～3回」(29.9%)が最も高く、男性の外食頻度が高く、週に1回以上は35.1%を占める。また、男性は女性に比べ、「週に4回以上」(15.0%)、「2～3ヶ月に1回」(20.0%)が高く、仕事の日にはほぼ毎日外食する人と、たまにしか外食しない人と、二極化している。男性に比べ、女性は「月に2～3回」(37.8%)が4割近くを占め、定期的に昼の外食を楽しんでいる様子が伺える。

夕食はモバイルとPC、両方のユーザーへの設問である。昼食同様「月に2～3回」(32.0%)が最も高いが、次に高いのは「1ヶ月に1回」(24.0%)で、月に1～3回が56.0%と半数を占め、昼食よりも外食頻度は低い。性別では、男性の頻度が高く、3割弱が週に1回以上夜に外食している。

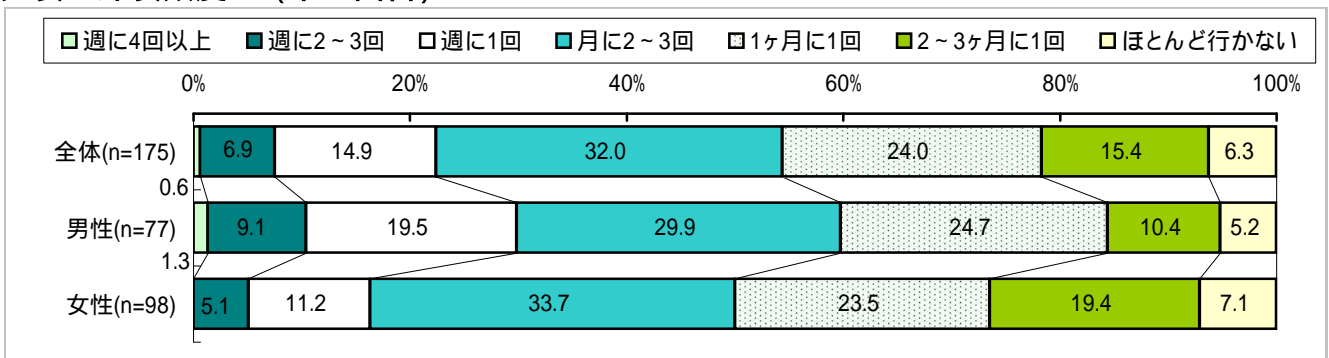
朝食の外食頻度 (PCユーザーのみ/単一回答)



昼食の外食頻度 (PCユーザーのみ/単一回答)



夕食の外食頻度 (単一回答)



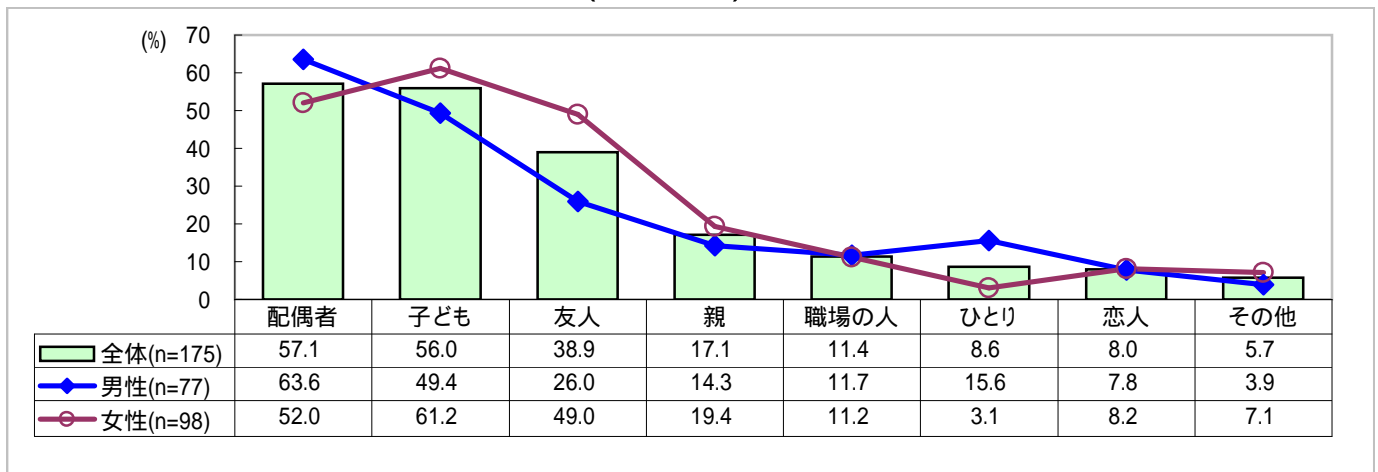
夜の夕食の同伴者と最もよく行く店

一緒に夜の夕食に行くのは家族が1番。ただし、女性のほうが交友関係は広い。回転寿司や焼肉など気軽に行ける店によく行っている。

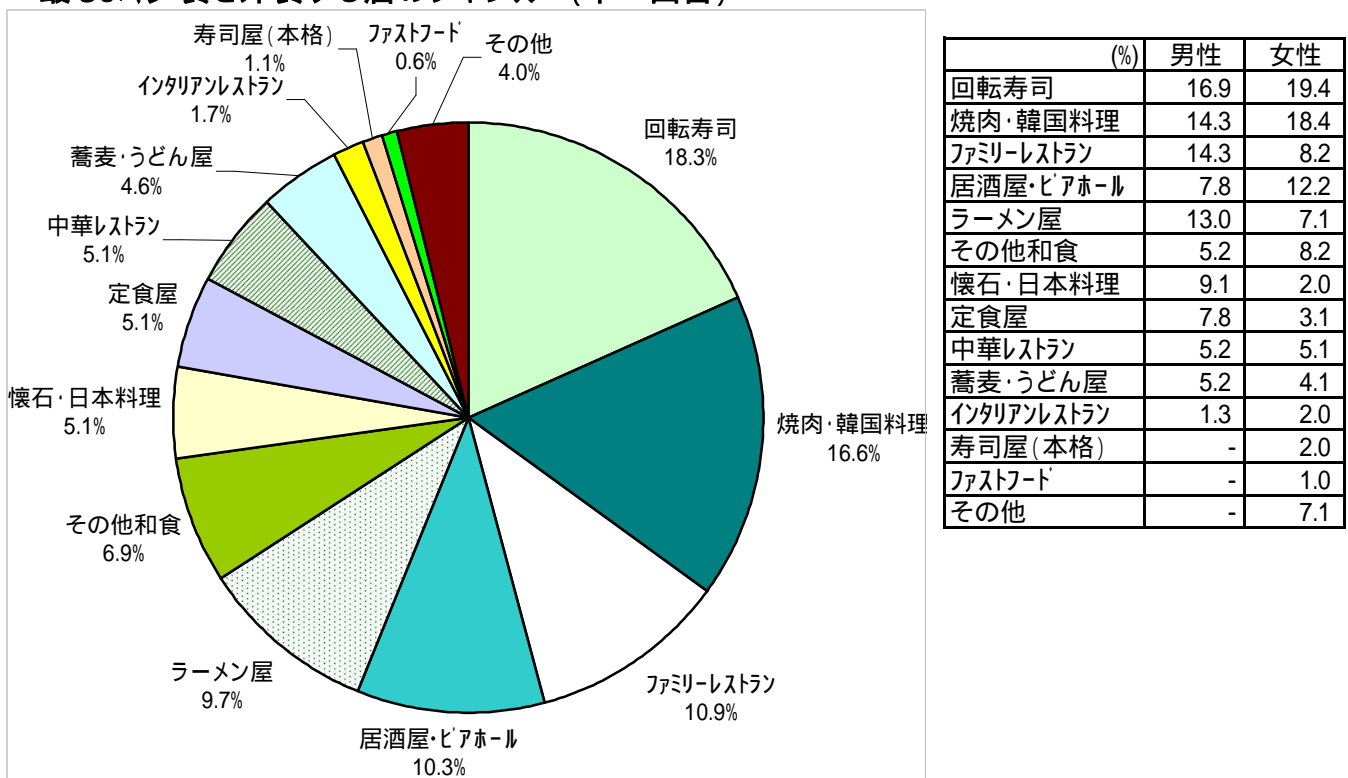
夕食の外出食と一緒に行くのは、「配偶者」(57.1%)、「子ども」(56.0%)がほぼ同率で、次に「友人」(38.9%)が続く。同居の子どもがいる人は66.3%おり、そのうちの8割以上が子どもと夜の外出食に行くことが多いと回答している。男女による差は、男性は「配偶者」(63.6%)、「ひとり」(15.6%)が女性よりも高く、女性は「子ども」(61.2%)、「友人」(49.0%)が男性より高い。女性の2位の「配偶者」(52.0%)と3位の「友人」は僅差で、女性は男性よりも配偶者以外と夜の外出を楽しむケースが多いようだ。

最もよく行く夜の外出店は、「回転寿司」(18.3%)、「焼肉・韓国料理」(16.6%)が1位と2位で、その他10%を超えるのは「ファミリーレストラン」(10.9%)、「居酒屋・ビアホール」(10.6%)と、気軽な店が上位になっている。配偶者やひとりで行くことが多い男性は、女性より「ファミリーレストラン」(14.3%)、「ラーメン屋」(13.0%)が若干高い。また、仕事からみで使うのか、「懐石・日本料理」(9.1%)も比較的高い値を示した。友人と行くことの多い女性は、「居酒屋・ビアホール」(12.2%)がやや高くなっている。

夕食の外出食と一緒に行くことが多い人（複数回答）



最もよく夕食を外食する店のジャンル（単一回答）



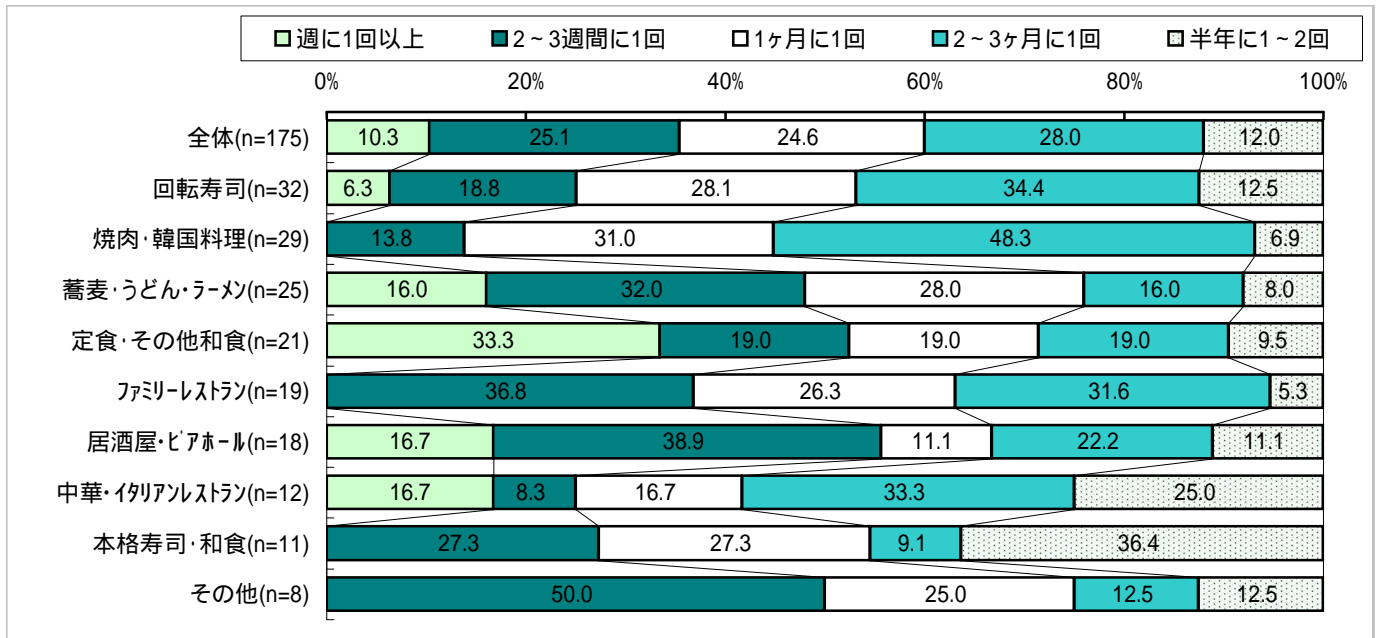
最もよく行く夕食店の頻度と同伴者

1ヶ月に1回弱、親子で回転寿司か焼肉で外食。

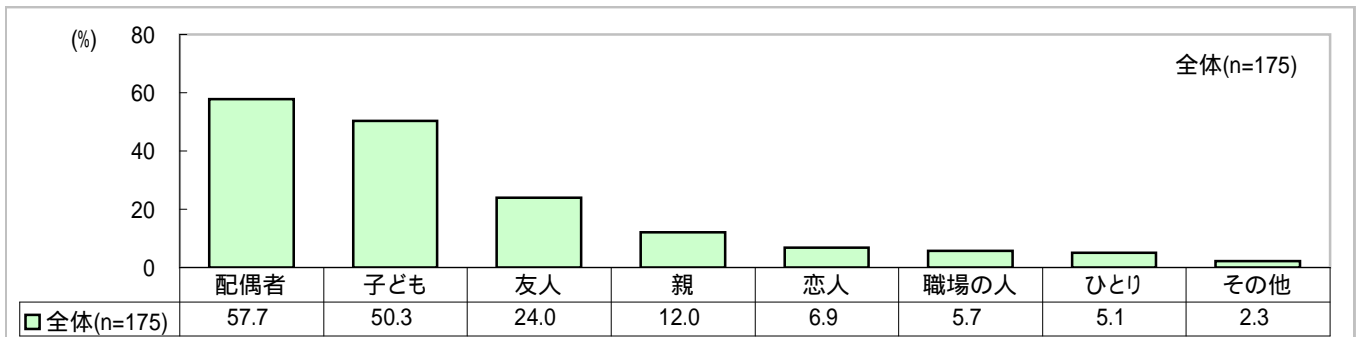
最もよく行く店について、その頻度を聞いた。全体では「2～3週間に1回」(25.1%)、「1ヶ月に1回」(24.6%)、「2～3ヶ月に1回」(28.0%)が、どれも25%前後を占めている。各店舗ジャンルごとでは、回答の多かった『回転寿司』『焼肉・韓国料理』は「2～3ヶ月に1回」が最も高く、それぞれ34.4%と48.3%を占める。『蕎麦・うどん・ラーメン』と『定食・その他和食』は比較的頻度が高く、2～3週間に1回以上が50%前後で、特に『定食・その他和食』は「週に1回以上」(33.3%)が3割を超え、日常的に利用している率が高い。『ファミリーレストラン』は「週に1回以上」との回答がなく、最も高いのは「2～3週間に1回」(36.8%)で、あまり頻繁に行く店ではない。女性の利用が比較的多かった『居酒屋・ビアホール』は、2～3週間に1回以上(55.6%)が、各店舗中、最も高い。飲みながら食事できる場所として、気軽に使われているようだ。

一緒に行く人は、一般的な夜の外出と同様、「配偶者」(57.7%)、「子ども」(50.3%)、「友人」(24.0%)がベスト3である。店舗別では、『回転寿司』や『ファミリーレストラン』は、どちらも「子ども」との回答が80%弱で、「配偶者」も60%代と、子どもメインで家族で行く店と言える。『焼肉・韓国料理』、『蕎麦・うどん・ラーメン』はどちらも「配偶者」、「子ども」の順に回答が多いが、『蕎麦・うどん・ラーメン』は3位に「ひとり」が入っている。他店舗より、比較的「友人」との回答が高いのは『定食・その他和食』、『居酒屋・ビアホール』、『本格寿司・和食』で、どれも40%を超えた。店のジャンルによって利用シーンが使い分けられていることがはっきりとわかる結果となった。

最もよく夜の外出をする店に行く頻度 (単一回答)



「最もよく夜の外出をする店」に一緒に行くことが多い人 (複数回答)



	(%) 配偶者	子ども	友人	親	恋人	職場の人	ひとり	その他
回転寿司(n=32)	68.8	78.1	6.3	25.0	-	-	-	9.4
焼肉・韓国料理(n=29)	72.4	65.5	10.3	13.8	10.3	-	-	-
蕎麦・うどん・ラーメン(n=25)	64.0	52.0	12.0	8.0	-	8.0	20.0	-
定食・その他和食(n=21)	42.9	9.5	42.9	9.5	9.5	-	14.3	-
ファミリーレストラン(n=19)	63.2	78.9	21.1	-	15.8	5.3	-	-
居酒屋・ビアホール(n=18)	27.8	27.8	50.0	-	5.6	16.7	5.6	-
中華・イタリアンレストラン(n=12)	50.0	41.7	33.3	16.7	8.3	8.3	-	8.3
本格寿司・和食(n=11)	45.5	9.1	45.5	18.2	9.1	18.2	-	-

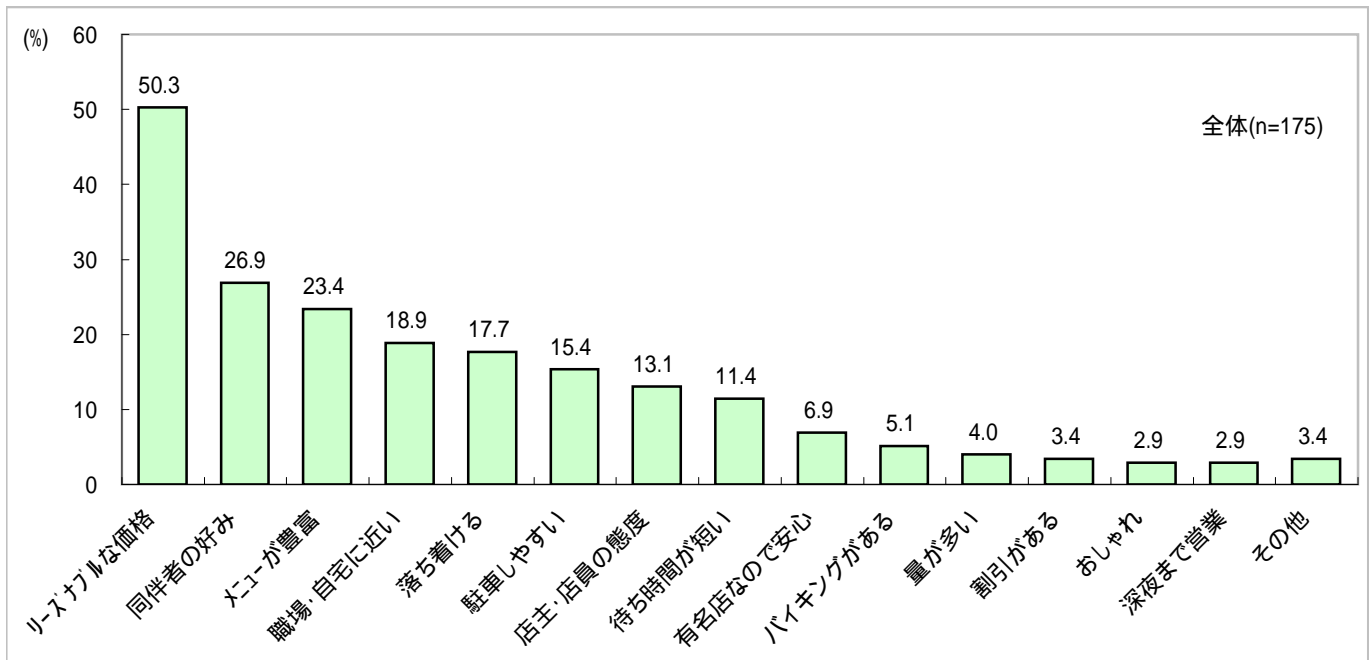
最もよく行く夕食店へ行く理由

店舗のジャンルによって行く理由は様々。価格重視店は子ども連れのお店。

その店へ行く味以外の理由は、「リーズナブルな価格」(50.3%)、「同伴者の好み」(26.9%)、「メニューが豊富」(23.4%)の順に高い。

店舗別では、子どもと行くことが多い『回転寿司』は価格の次に「同伴者の好み」(40.6%)が高く、「メニューが豊富」(37.5%)も全体平均より高い。『焼肉・韓国料理』は全体平均より「リーズナブルな価格」(31.0%)が低く、4位にランクインした「有名で安心」(17.2%)が高い。店舗数も多く、メニューも大きく変わらない焼肉店は知名度が、他店より重視されている。『蕎麦・うどん・ラーメン』は2位の「職場・自宅の近く」(36.0%)が比較的高い。『定食・その他和食』は、価格も重要だが「落ち着ける」(28.6%)、「店主・店員の態度」(23.8%)も全体より高い。『ファミリーレストラン』も子どもと行く率が高かったが「リーズナブルな価格」(73.7%)が目立っており、子どもも含め3人以上で行くことが多い店では、特に価格にシビアになるようだ。また、2位の「駐車しやすい」(26.3%)もファミレスに行くポイントのひとつ。『居酒屋・ビアホール』は価格と同率1位の「メニューが豊富」(44.4%)が高い。『本格寿司・和食』はサンプル数は少ないが、「落ち着ける」(63.6%)が非常に高く、価格以外の要素が非常に重要だと考えられているジャンルである。

「最もよく夜の外出をする店」へ行く味以外の理由 (3つまでの複数回答)



	リーズナブルな価格	同伴者の好み	メニューが豊富	職場・自宅近	落ち着ける	駐車しやすい	店員等の態度	待ち時間短い	有名で安心	バイクンクがある
回転寿司(n=32)	65.6	40.6	37.5	12.5	-	28.1	3.1	25.0	6.3	-
焼肉・韓国料理(n=29)	31.0	20.7	13.8	20.7	13.8	10.3	13.8	3.4	17.2	3.4
蕎麦・うどん・ラーメン(n=25)	44.0	32.0	12.0	36.0	4.0	24.0	16.0	28.0	4.0	-
定食・その他和食(n=21)	61.9	14.3	23.8	19.0	28.6	-	23.8	4.8	4.8	14.3
ファミリーレストラン(n=19)	73.7	26.3	15.8	5.3	10.5	26.3	-	5.3	-	-
居酒屋・ビアホール(n=18)	44.4	38.9	44.4	16.7	27.8	-	11.1	-	-	-
中華・イタリアンレストラン(n=12)	58.3	16.7	25.0	33.3	33.3	16.7	16.7	16.7	-	-
本格寿司・和食(n=11)	18.2	9.1	9.1	9.1	63.6	18.2	36.4	-	18.2	-

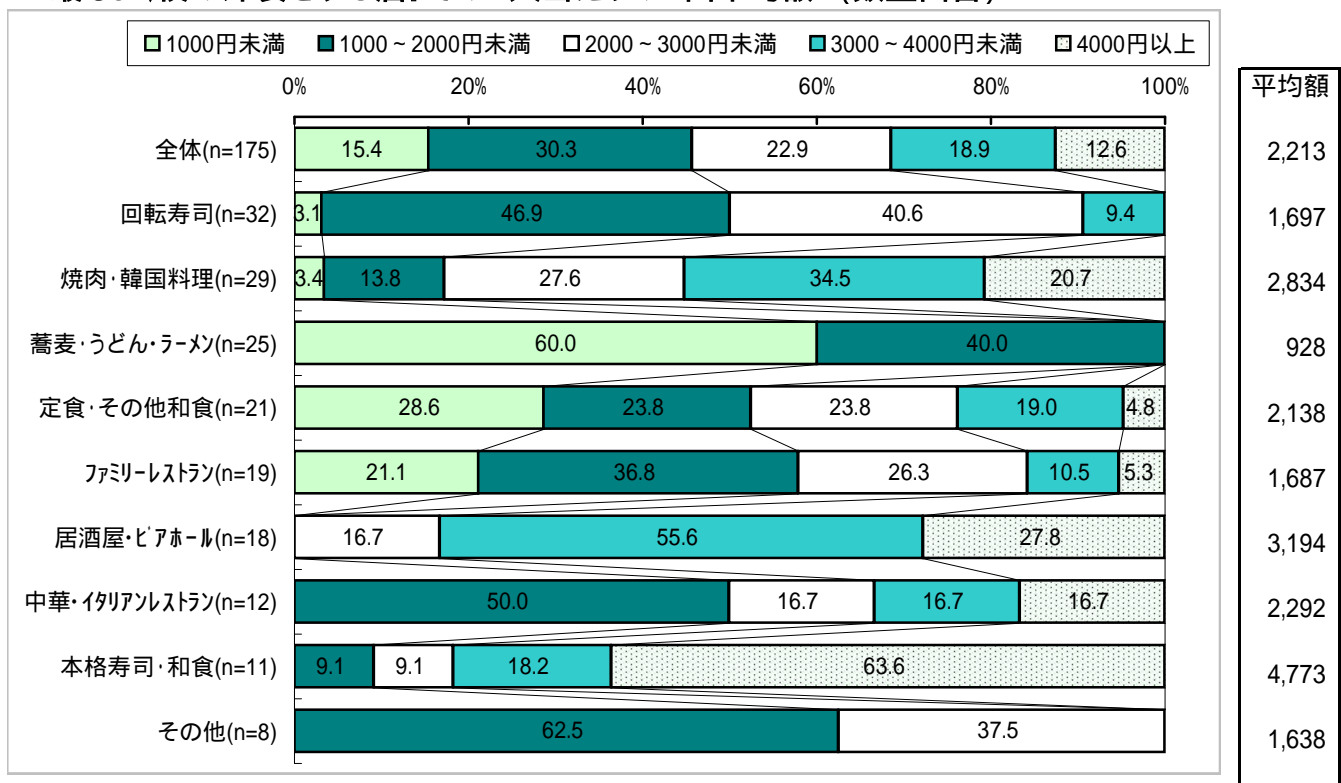
	量が多い	割引	おしゃれ	深夜まで営業	その他
回転寿司(n=32)	-	-	-	-	3.1
焼肉・韓国料理(n=29)	10.3	-	6.9	3.4	6.9
蕎麦・うどん・ラーメン(n=25)	8.0	4.0	-	4.0	4.0
定食・その他和食(n=21)	4.8	-	-	4.8	9.5
ファミリーレストラン(n=19)	5.3	10.5	-	10.5	-
居酒屋・ビアホール(n=18)	-	5.6	5.6	-	-
中華・イタリアンレストラン(n=12)	-	16.7	8.3	-	-
本格寿司・和食(n=11)	-	-	-	-	-

最もよく行く夕食店の金額

回転寿司・ファミレスの平均単価は1700円弱。

1人あたりの平均額で最も低いのは、『蕎麦・うどん・ラーメン』の928円で「1000円未満」の回答が60.0%を占める。行く理由で価格の値が高かった『回転寿司』は1,697円で「1000～2000円未満」(46.9%)が50%弱を占める。同じく価格意識が高かった『ファミリーレストラン』の平均は1,687円で、「1000～2000円未満」(36.8%)が最も高いものの、回転寿司に比べて価格は分散している。最も平均額が高いのは、「4000円以上」が63.6%を占める『本格寿司・和食』の4,773円。『居酒屋・ビール』も平均額が3,194円と3000円を超え、お酒がプラスされる場所では、どうしても単価も高くなるようだ。

「最もよく夜の外出をする店」での1人当たりの1回平均額 (数量回答)



飲食店の情報と外食最高額

新しい店はグルメ雑誌と地域情報誌と口コミで情報を集める。
外食最高額は平均6,887円。

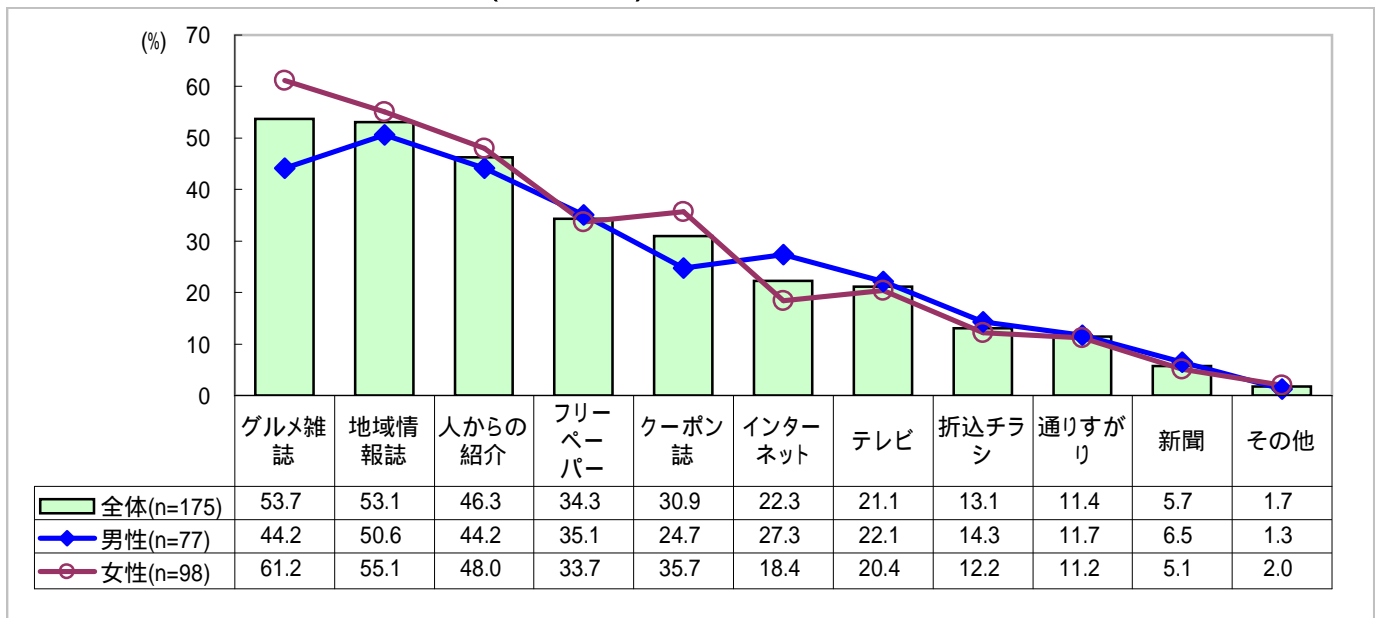
新しい店の情報を収集するのは、「グルメ雑誌」(53.7%)、「地域情報誌」(53.1%)、「人からの紹介」(46.3%)がそれぞれ50%前後で、メインの収集先といえるだろう。

性別では、男性よりも女性のほうが積極的に情報収集をしており、「グルメ雑誌」(61.2%)、「地域情報誌」(55.1%)、「クーポン誌」(35.7%)など、男性を上回る項目が多い。男性は「インターネット」(27.3%)が女性よりも高い。

過去1年以内の外食最高額の平均は、6,887円。「5000～7500円未満」(27.3%)、「2500～5000円未満」(24.7%)の順で高く、5000円前後が中心価格帯のようだ。

男性(6,374円)よりも女性(7,442円)の平均価格が高い。男性は「2500円未満」(12.5%)、「10,000～15,000円未満」(20.0%)が若干高く、やや二極化の傾向が見られるが、外食頻度が男性のほうが高いことから、1回あたりの金額や最高額も押さえているのではないだろうか。

初めて行く店の情報を得るもの（複数回答）



1年以内の1人あたり外食最高額（数量回答）

